

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象 特別支援学校 小学部4，5年（8人）

- ・これまでの生活環境から、経験が乏しく、知っていそうで知らなかったり、言葉は知っているが実際の意味や内容について知らなかったりすることも多い。
- ・飽きてしまったり、興味がないことだと離席してしまったりするなどの行動が見られる児童もいるが、好きなこと、興味のあることには夢中になって取り組んだり友達と共有したりすることができる。体を動かしたり実物を使って試したりすることに興味を持って取り組む。
- ・自分の意見をもっているが、恥ずかしくて表現することをためらったり、ふざけたりする面もある。また、思いを伝えることが苦手だったり、ちょっとした思い違いからトラブルになったりすることもあり、教師の仲介やクールダウンの時間が必要な児童も多い。
- ・これまでに、磁石や空気など物質の性質を利用した遊びに取り組んだ経験がある。

2. 単元名 「科学館に行こう！」（全12時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・校外学習で科学館に行くことが分かり、場所や行き方について調べることができる。 ・科学館にどんな分野のコーナーがあるか知ることができる。
思考力，判断力，表現力等	・行き方やスケジュールをまとめたり、友達に伝えたりすることができる。 ・興味のある分野を選び、そのことについて調べることができる。
学びに向かう力，人間性等	・科学館で興味のあるコーナーについて調べたり、コーナーに関連する玩具を作ったりすることができる。 ・（校外学習当日）調べた分野についてのコーナーで繰り返し遊ぶことができる。 ・科学館で、好きなコーナーや気になるコーナーを見付け、繰り返し遊ぶことができる。

4. 本時の目標

校外学習で行く場所が分かり、交通手段を考えることができる。

5. 授業展開【（本時）・ 単元 】

解決したい課題や問い

- ・科学館にいる〇〇ちゃん（博士）に会いに行こう！どうやって行く？

考えるための材料

- ・10月には毎年校外に出かけている。（児童の授業前からの思考）
- ・「6年生は修学旅行に行くよ。」「4，5年生もこれまで勉強をがんばってきたから出掛けよう。」
- ・行きたいところは？
- ・何日なら行けるかな。（以前お世話になった科学館の人にその場で直接連絡をする。）
- ・科学館ってどこにあるんだろう？

想定される活動

- ・行きたいと思うところを次々と意見として出す。
- ・行きたいところがあっても、なかなか全体に向けて発言できない。
- ・マイクロバス、バスなど使ったことのある交通手段で行くと発言する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・前に〇〇（飲食店）に行っていたから行きたい。など（それぞれの児童がいくつも意見を出す）
- ・行ったことがないところに行きたい。
- ・9月に学校へ来た〇〇ちゃん（博士）がいる科学館に行ってみたい。
- ・駅まではバスに乗るよ。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・ 科学館に早く行きたい。
- ・ バスと電車に乗るんだ。
- ・ どこから乗る？何時に乗るんだろう？
- ・ 科学館は何があるところかな。